

令和3年度

横芝光町決算審査意見書

病院事業会計

横芝光町監査委員

横 監 第 1 5 号
令和 4 年 8 月 3 1 日

横芝光町長 佐藤 晴彦 様

横芝光町監査委員 押尾 幹

横芝光町監査委員 鈴木 唯夫

令和 3 年度横芝光町病院事業会計決算審査意見について

地方公営企業法第 3 0 条第 2 項の規定により審査に付された令和 3 年度横芝光町病院事業会計決算及び証拠書類、その他政令で定める書類を審査したので、別紙のとおり意見を提出します。

決 算 審 査 意 見

第 1 審査の対象

令和 3 年度 横芝光町病院事業会計決算

第 2 審査の期間

令和 4 年 8 月 2 2 日

第 3 審査の手続き

決算審査に当たっては、決算報告書、事業報告書及びその他関係書類について、決算の計数は正確であるか、予算の執行は適正で効率的に行われているか、また、財務に関する事務は公営企業法等の関係法令に準拠して作成され、かつ、事業の経営成績や財務状態が適正に表示されているかなどの諸点に留意し、関係帳簿その他証拠書類を照合精査するとともに関係職員の説明を求め、審査を実施した。

第 4 審査の結果

審査に付された事業会計決算報告書等は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、その計数は、関係諸帳簿その他証拠書類と照合した結果、誤りのないものと認められた。

また、事業の運営は、地方公営企業の原則に留意して適性に行われ、予算の執行もおおむね所期の目的に沿って執行されたものと認められた。

なお、決算の概要及び審査意見は別途記載のとおりである。

第5 決算の概要

1 業務実績

区 分		3年度	2年度	比較増減	
病 床 数	一 般	95 床	95 床	0 床	
	医療療養	55 床	55 床	0 床	
		40 床	40 床	0 床	
年 間 延 病 床 数	一 般	34,675 床	34,675 床	0 床	
	医療療養	20,075 床	20,075 床	0 床	
		14,600 床	14,600 床	0 床	
診療日数	入 院	365 日	365 日	0 日	
	外 来	242 日	235 日	7 日	
延 患 者 数	入 院	年 間	22,159 人	20,098 人	2,061 人
		1 日 平 均	60.8 人	55.1 人	5.7 人
	一 般	年 間	10,862 人	10,169 人	693 人
		1 日 平 均	29.8 人	27.9 人	1.9 人
	医療療養	年 間	11,297 人	9,929 人	1,368 人
		1 日 平 均	31.0 人	27.2 人	3.8 人
	外 来	年 間	35,255 人	33,872 人	1,383 人
		1 日 平 均	145.7 人	144.1 人	1.6 人
入院・外来延患者数		60,280 人	56,338 人	3,942 人	
病 床 利 用 率	一 般	63.9 %	58.0 %	5.9 ポイント	
	医療療養	54.1 %	50.7 %	3.4 ポイント	
		77.4 %	68.0 %	9.4 ポイント	
患者1人1日 当たり診療収入	入 院	28,096 円	29,015 円	△ 919 円	
	外 来	8,586 円	8,438 円	148 円	
医 業 収 益		1,038,338 千円	949,367 千円	88,971 千円	
医 業 費 用		1,534,423 千円	1,487,044 千円	47,379 千円	
収 支 差 額		△ 496,085 千円	△ 537,677 千円	41,592 千円	

※1日平均の外来患者数は、各診療科目の診察日数で算出された1日平均の患者数の積算である。

※金額は、消費税及び地方消費税を含んだ数値である。

本年度の年間入院患者数は22,159人（1日平均60.8人）で、前年度と比べ2,061人（1日平均5.7人）の増加である。また、年間外来延べ患者数は35,255人（1日平均145.7人）で、前年度と比べ1,383人（1日平均1.6人）の増加であり、病床利用率は63.9%で、前年度と比較して5.9ポイントの増加である。

患者1人当たりの診療収入は、入院で28,096円（対前年度比3.2%減）、外来で8,586円（対前年度比1.8%増）である。

2 決算状況

(1) 収益的収入及び支出

(収益的収入)

区 分	予 算 額	決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	収入率	前年度 収入率
病院事業収益	千円 1,727,510	千円 1,590,690	千円 △ 136,820	% 92.1	% 86.9
医療収益	1,201,910	1,038,338	△ 163,572	86.4	80.6
訪問看護 ステーション収益	24,756	26,414	1,658	106.7	63.5
医療外収益	500,842	519,521	18,679	103.7	100.2
特別収益	2	6,417	6,415	320,850.0	104.5

注：消費税及び地方消費税を含む。

病院事業収益は、予算現額 1,727,510 千円に対し、決算額は 1,590,690 千円（うち仮受消費税額 6,006 千円）である。予算現額に対する収入率は 92.1%である。

(収益的支出)

区 分	予 算 額	決 算 額	不 用 額	執行率	前年度 執行率
	千円	千円	千円	%	%
病院事業費用	1,707,277	1,607,964	99,313	94.2	91.3
医業費用	1,611,890	1,534,423	77,467	95.2	91.7
訪問看護 ステーション費用	44,521	32,765	11,756	73.6	82.6
医業外費用	49,864	40,776	9,088	81.8	81.9
特別損失	2	0	2	0.0	99.9
予備費	1,000	0	1,000	0.0	0.0

注：消費税及び地方消費税を含む。

病院事業費用は、予算現額 1,707,277 千円に対し、決算額は 1,607,964 千円（うち仮払消費税額 33,424 千円）である。

予算現額に対する執行率は 94.2%で、不用額は 99,313 千円である。

支出の主なものは、医業費用の給与費である。

(2) 資本的収入及び支出

(資本的収入)

区 分	予 算 額	決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	収入率	前年度 収入率
	千円	千円	千円	%	%
資本的収入	109,958	100,157	△ 9,801	91.0	99.9
企業債	9,800	0	△ 9,800	0.0	100.0
出資金	43,115	43,115	0	100.0	100.0
補助金	57,043	57,042	△ 1	99.9	99.8

注：消費税及び地方消費税を含む。

資本的収入は、予算現額 109,958 千円に対し、決算額は 100,157 千円である。予算現額に対する収入率は 91.0%である。

(資本的支出)

区 分	予 算 額	決 算 額	不 用 額	執行率	前年度 執行率
	千円	千円	千円	%	%
資本的支出	161,487	157,289	4,198	97.4	94.8
建設改良費	91,815	87,618	4,197	95.4	91.8
企業債償還金	69,672	69,671	1	99.9	99.9

注：消費税及び地方消費税を含む。

資本的支出は、予算現額 161,487 千円に対し、決算額は 157,289 千円である。予算現額に対する執行率は 97.4%で、不用額は 4,198 千円である。

なお、資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 57,132 千円は、過年度分損益勘定留保資金から補填している。

3 経営状況

(1) 収支

(総収益・総費用)

区 分	病院事業収益 (総収益)		病院事業費用 (総費用)		差引額 (純利益)	総収支比率 A/B
	金 額 A	前年度比	金 額 B	前年度比		
	千円	%	千円	%	千円	%
3年度	1,584,683	100.5	1,602,378	101.1	△ 17,695	98.9
2年度	1,576,064	103.3	1,585,521	103.4	△ 9,457	99.4

※消費税及び地方消費税を除いた数値である。

本年度の病院事業収益 (総収益) は 1,584,683 千円、病院事業費用 (総費用) は 1,602,378 千円で、本年度決算における純利益は△17,695 千円である。昨年度と比較して赤字額が増加した主な理由は、新型コロナウイルス感染症の影響に加え、非常勤医師の報償費や感染症対策に係る材料費及び経費のほか、電力単価の増加による光熱水費などが増えたことにより、赤字額が増えている状況にある。

(医業収益・医業費用)

区 分	医業収益		医業費用		差引額 (医業利益)	医業収支比率 A/B
	金 額 A	前年度比	金 額 B	前年度比		
	千円	%	千円	%	千円	%
3年度	1,033,079	109.3	1,501,413	103.1	△ 468,334	68.8
2年度	945,147	103.0	1,456,770	99.6	△ 511,623	64.9

※消費税及び地方消費税を除いた数値である。

医業収益から医業費用を引くと、本年度の医業利益は△468,334 千円である。その損失を補填するため、他会計負担金などの医業外収益でこれを補ったものである。

なお、医業活動の成果を示す医業収支比率は 68.8% で、前年度と比較して 3.9 ポイントの増加である。

(2) 収益

(事業収益)

科 目	3年度		2年度		比較増減額	増減率
	金 額	構成比	金 額	構成比		
	千円	%	千円	%	千円	%
1 病院事業収益	1,584,683	100.0	1,576,064	100.0	8,619	0.5
1 医業収益	1,033,079	65.2	945,147	60.0	87,932	9.3
2 訪問看護 ステーション収益	26,363	1.7	21,032	1.3	5,331	25.3
3 医業外収益	518,824	32.7	577,285	36.6	△ 58,461	△ 10.1
4 特別利益	6,417	0.4	32,600	2.1	△ 26,183	△ 80.3

※消費税及び地方消費税を除いた数値である。

病院事業収益は 1,584,683 千円で、前年度と比較して 8,619 千円 (0.5%) の増加で

ある。これを科目別にみると、医業収益は1,033,079千円で、前年度と比較して87,932千円(9.3%)の増加である。主な理由は、入院収益で前年度と比較して39,432千円(6.8%)の増加、外来収益で前年度と比較して16,867千円(5.9%)の増加、特別利益の減については、令和3年度に医療従事者慰労金の支給がなかったことによるものである。

訪問看護ステーションの収益は26,363千円で、前年度と比較して5,331千円(25.3%)の増加である。

医業外収益は518,824千円で、前年度と比較し58,461千円(10.1%)の減少である。主な理由は、町一般会計からの繰入金が昨年度と比較して減となったことによるものである。

(3) 費用

(事業費用)

科 目	3年度		2年度		比較増減額	増減率
	金 額	構成比	金 額	構成比		
	千円	%	千円	%	千円	%
1 病院事業費用	1,602,378	100.0	1,585,521	100.0	16,857	1.1
1 医業費用	1,501,413	93.7	1,456,770	91.9	44,643	3.1
2 訪問看護 ステーション費用	32,573	2.0	31,198	2.0	1,375	4.4
3 医業外費用	68,392	4.3	66,353	4.2	2,039	3.1
4 特別損失	0	0.0	31,200	1.9	△ 31,200	皆減

※消費税及び地方消費税を除いた数値である。

病院事業費用は1,602,378千円で、前年度と比較して16,857千円(1.1%)の増加である。

医業費用は1,501,413千円で、前年度と比較して44,643千円(3.1%)の増加である。主な理由は、薬品費や診療材料費など経費の増加によるものである。

訪問看護ステーション費用は32,573千円で、前年度と比較して1,375千円(4.4%)の増加である。

医業外費用は68,392千円で、前年度と比較して2,039千円(3.1%)の増加である。主な理由は、停電用非常電源装置増設工事などにより長期前払消費税の償却や雑損失の仮払消費税分が増加したことによるものである。

4 財政状態

(1) 資産の部

科 目	3年度		2年度		比較増減額	増減率
	金 額	構成比	金 額	構成比		
	千円	%	千円	%	千円	%
1 固定資産	2,674,201	90.9	2,769,802	90.1	△ 95,601	△ 3.5
2 流動資産	267,064	9.1	305,357	9.9	△ 38,293	△ 12.5
3 繰延勘定	-	-	-	-	-	-
資産合計	2,941,265	100.0	3,075,159	100.0	△ 133,894	△ 4.4

資産合計は2,941,265千円で前年度と比較して133,894千円(4.4%)の減少である。

(2) 負債資本の部

科 目	3年度		2年度		比較増減額	増減率
	金 額	構成比	金 額	構成比		
	千円	%	千円	%	千円	%
1 固定負債	158,169	5.4	205,949	6.7	△ 47,780	△ 23.2
2 流動負債	116,575	4.0	196,587	6.4	△ 80,012	△ 40.7
3 繰延収益	1,043,676	35.5	1,032,083	33.6	11,593	1.1
負債合計	1,318,420	44.9	1,434,619	46.7	△ 116,199	△ 8.1
4 資本金	2,895,051	98.4	2,895,051	94.1	0	0.0
5 剰余金	△ 1,272,206	△ 43.3	△ 1,254,511	△ 40.8	△ 17,695	1.4
資本合計	1,622,845	55.1	1,640,540	53.3	△ 17,695	△ 1.1
負債資産合計	2,941,265	100.0	3,075,159	100.0	△ 133,894	△ 4.4

ア 負債の部

本年度の負債合計は1,318,420千円で、前年度と比較し116,199千円(8.1%)の減少である。

イ 資本の部

本年度の資本合計は1,622,845千円で、前年度と比較して17,695千円(1.1%)の減少である。

(3) 財務比率

財政比率の推移

区 分	算 式	3年度	2年度	元年度
自己資本 構成比率	$\frac{\text{自己資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{繰延収益}}{\text{総資本 (負債} + \text{資本)}} \times 100$	90.7	86.9	83.2
固定資産対 長期資本比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{固定負債} + \text{繰延収益}} \times 100$	94.7	96.2	97.6
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	366.5	240.6	156.6

自己資本構成比率は、総資本に占める自己資本の割合を示すものであり、この割合が大きいほど経営の安全性が高く、50%以上が望ましいとされる。本年度は90.7%となっている。

固定資産対長期資本比率は、長期の安全性を示すもので、この割合は100%以下が望ましいとされており、本年度は94.7%となっている。

流動比率は、短期債務に対する支払能力・運転資金の状況を示すもので、企業の経営上からは少なくとも流動負債に見合う流動資産があることが必要であり、200%以上が理想とされている。本年度は366.5%となっている。

むすび

本年度の入院の延べ患者数は22,159人(1日平均60.8人)で、前年度と比較して2,061人(1日平均5.7人)増加している。病床利用率は、一般病床が54.1%(前年度比3.4ポイント増加)、療養病床が77.4%(前年度比9.4ポイント増加)となっている。

また、外来延べ患者数は35,255人(1日平均145.7人)で、前年度と比較して1,383人(1日平均1.6人)増加している。

経営状況について消費税を除いた損益計算書でみると、収益では、収益の大宗を占める医業収益が前年度と比較して9.3%増加しているが、医業外収益は10.1%減少している。収益総額は8,619千円(0.5%)増加の1,584,683千円となっている。一方、費用は、前年度と比較して医業費用は3.1%、医業外費用は3.1%共に増加している。費用総額は16,857千円(1.1%)増加の1,602,378千円で、総体的な収支は17,695千円の赤字である。なお、医業収支は、468,334千円の赤字であるが、前年度と比較して43,289千円の減額赤字である。

全国でも千葉県は医師・看護師不足が深刻化しており、中でも医療過疎とされる当地域の慢性的な医師・看護師不足は、診療の縮小や休止を余儀なくされるなど、病院経営はより一層厳しさを増している状況から、早急な対応が求められている。

当病院においては、新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言やまん延防止等重点措置に伴い入院制限や受診控えはあったものの、入院、外来ともに患者数が増加したため医業収益は回復傾向にある。

しかしながら一般会計からの繰入もいまだに多額であることから、繰入金縮減に向けてなお一層の取り組みが必要である。

また、今後の2025年問題に向けた更なる超高齢化社会に対応するため、医師の確保が最重要課題であることから、町と連携を図りながら更なる努力を願いたい。

コロナ禍の影響もあり、自治体病院を取り巻く環境は非常に厳しいところであるが、各種経費の節減・抑制対策を適正に実施し、地域医療の拠点となるよう期待するものである。